

第423回 番組審議会

1. 日 時 平成19年7月17日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 13名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	和田 利彦
	委員	梅村 俊男
	委員	高橋 三男
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂
	委員	西郷 喜代子
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二
	委員	増川 博之
	委員	嶋村 正
	委員	上野 克幸

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役会長)
	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	高橋 甫和 (取締役技術局長)
	千葉 正範 (役員待遇営業局長)
	淵沢 行則 (制作局長)
	鈴木 直志 (報道専任局長)
	平山亜希子 (制作局制作部主任)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. チャグチャグ馬コ～鈴の音がつなぐ人馬の絆～
6月30日（土）午後3時～3時55分放送
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・タイムテーブル7月号

6. 議事の概要

社側説明

番組審議会の議題「チャグチャグ馬コ～鈴の音がつなぐ人馬の絆～」は、6月30日（土）午後3時～3時55分で放送いたしました。

委員側意見

- ・「チャグチャグ馬コ」は、いい祭りだと思いますが、それを掘り下げて、行程に付き添い、取材もして、非常に時間と手間をかけた良い番組だった。
- ・映像的には、モノトーンとカラーの対比、それから出発時の馬と人の颯爽とした姿と、到着した時の馬の疲れ涙など、対比を上手く使って“初夏の風物詩”として、ゆったりと見ることができる番組にまとまっていた。
- ・吉村先生の役割が不明確だったのではないかな。
- ・スポンサーのCMが前面に出すぎていて、番組全体の迫力を削ぐ結果になったのではないかな。
- ・後継者の問題と、何のために馬を生産しているのか、馬主の生計はどうなっているかなどを掘り下げて欲しかった。
- ・親子の話題は、良い素材だったという反面、前面に出しすぎたのではないかな。
- ・「チャグチャグ馬コ」を知らない方のために、由来や、祭りの全体像など、情報として不完全な面があったのではないかな。
- ・全体的に盛り沢山の内容。少し整理をした方が良かったのではないかな。
- ・字幕が見にくい所があった。
- ・「これからもチャグチャグ馬コをささえていきますか？」というインタビューがあったが、残念な質問。「支えていくためにどんなことが必要ですか？」という方が良かったのではないかな。

社 側 全体として、ご指摘のとおりで、馬自体が人の暮らしから切り離されて、「馬の労働に感謝して、日々の安全を祈る」という本来の祭りの意味が、なかなか捉え難いということはあったかと思いますが、岩手の四季の中で、馬と人の暮らしというものを捉えなおして、この祭りにかける人々の意気込みとか想いを伝えたかったのが真意です。

社 側 後継者に関しては、それを追いたいという気持ちはあったのですが、実際は後継者で参加されている方が少なく、60代が主力で、その現状をお伝えしてすることに絞りました。説明が足りなかったとご指摘を受けましたが、なるべくナレーションに折り込んだつもりではあったのですが、解説が足りないというご指摘はそうだなとも思いますが、誰もが見て、何となくこの祭りの雰囲気と背景が分かるように作りました。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成19年7月24日(火)午前11時50分～11時57分放送)で、審議の概要を放送。

- ・支社・支局に議事録を設置
- ・当社のインターネットのホームページで議事録を公開。